

事務事業名 子育て教室開催事業

出力日：令和05年04月27日

キーコード：1271

施策：	17	子育て支援の推進	財務コード	01030210-02-00
基本事業：	03	地域における子育て支援	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	急用時等に子どもを預ける場所がある又は人がいる保護者の割合 他の親子と交流している乳幼児をもつ保護者の割合		担当課	子育て支援課
			担当係	子育て支援担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成02年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
乳幼児と子育て中のその保護者			子育て支援センター職員が、市内の公共施設にて親子教室等を開催。 まなびの広場（親子教室） ・ひよこ組：2ヶ月～6ヶ月の子どもと保護者（定員10組/回、年10回） ・あひる組：7ヶ月～11ヶ月の子どもと保護者（定員10組/回、年10回） 二日市東コミセン、生涯学習センターにて開催 子育てサロン（新たに月齢別のサロン開始、こあら、うさぎ、ぱんだ） ・もこもこタイム：0歳～就学前の子どもと保護者。月に9回。 ・赤ちゃんタイム：2ヶ月～11ヶ月の子どもと保護者。月に3回。 二日市東コミセン、かみ-1や、筑紫南コミセンにて開催 子育て講習会 ・子育てに関する講習会を市内で開催：年4回 ・父親を対象とした育児講座等を市内で開催。年1回。 【根拠法令】子ども・子育て支援法、【補助金】子ども・子育て支援交付金（地域子育て支援拠点事業費補助金）（国・県・市 各1/3）						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			子育て支援のひとつとして育児に悩んだり、相談するところもなく孤立している親に、子育ての方法を知らせたり、子育て仲間を作るきっかけづくりをし、保護者の子育ての不安を解消している。また、子どもが健やかに成長できるように支援している。						
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	目標
			実績	実績	当初	要求	計画	計画	
親子教室参加者数		人	1,032	338	2,350	338			2,300
子育てサロン参加者数		人	1,887	2,707	7,003	2,707			8,000
5. コスト									
事業費		計	千円	312	137	180	179		
		国	千円	104	45	112	60		
		県	千円	104	45	0	60		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
		一般	千円	104	47	68	59		
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.2				
正職員人件費		千円	803	792	1,546				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	1,115	929	1,726	179			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		<状況> 親子教室の参加者数は減少したが、子育てサロン参加者数は増加した。 <原因> 親子教室参加者数は、コロナウイルス感染症防止対策として施設の閉館等により、取り組みの中止や人数制限での実施などをしたため減少した。一方、子育てサロン参加者数は、初めての試みになる年齢別の子育てサロン「こあらタイム」「うさぎタイム」「ぱんだタイム」を実施したことにより、増加している。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）									
改善方向性			維持	見直し	廃止	事業終了			
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
令和4年度から、まなびの広場および子育てサロンを、地域子育て支援センター事業に統合する。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						
少子化や核家族化の進行、地域との関わりが薄れるなど、家庭や地域における子育て機能の低下や、孤独感や不安感を抱えながら子育てをしている親が増加している。									